

## コラム 世界の水はどうなっているの？

地球には、海の水を含めてたくさんの水がありますが、わたしたちが生活に使える水の量はほんのわずかです。

そのため、世界では、川の水を処理する方法のほかに、海の水から塩分を取り除いたり、下水できれいに処理したりと、色々な工夫をして生活に使える水を作っています。



▲川の水を運ぶ様子

東京都では、水道局の職員が海外に行き、水道の技術を教えたり、海外の人が来日したときには、水道局の施設で研修を行ったりしています。



▲会議の会場の様子

しかし、平成 29 (2017) 年時点で、世界では 22 億人が安全に管理された飲み水を使うことができないといわれています。(注)

処理されていない湖や川などの水をそのまま使っている地域もあり、時には命を落としてしまうことがあります。

注 (出典 ユニセフほか「飲み水と衛生の進歩と格差 (2000 年～2017 年)」)



▲海外から来た人たちの浄水場見学の様子

このほかにも、水に関する仕事についている人たちが世界中から集まり、水について考える会議が開かれています。

平成 30 (2018) 年 9 月には、こうした水の国際会議の一つが東京で開かれ、最新の技術や水を有効に活用するための取組について情報交換などが行われました。